

# 経理 WOMAN

10  
Nov  
11

読んでためになる!! 経理の仕事が丸ごとわかる月刊誌

「経理スキル」を磨く術



## 問題解決能力を身に付けよう!

税理士  
平井満広



以前「レッドクリフ」という映画が大ヒットしました。今から2000年も昔の中国の「三国時代」のお話で、天下統一を目指す曹操の大軍とそれに対抗する劉備・孫権の少数連合軍との合戦を描いた映画です。この戦いで、劣勢ながらも自軍を勝利に導いたのが金城武さんの演じた劉備軍の参謀・諸葛亮（孔明）と、トニーレオンさんが演じた孫権軍の参謀・周瑜の2人の主人公です。

代社に置き換えて「主君」社長、「軍隊」会社」と考えると、「主君」社長の夢や理想を実現するために軍隊（会社）を取り仕切る」という参謀の仕事は、経理担当者が本来果たすべき役割といっても過言ではありません。

た判断をすることがよくあります。たとえば、規模が大きいから儲けも多いと思っていた得意先が、想像以上にコストや時間がかかってあまり儲かっていなかったとか、原料費が高いから儲けが少なかったと思っていた商品が、じつは製造時間が短くて意外と儲かっていた、なんてことはよくあります。現場が誤った判断をしないように事実や記録を調べて客観的な資料を提示する、という仕事は経理担当者の重要な役割のひとつです。

「スキル」を磨く2冊の本



「稲盛和夫の実学—経営と会計」  
稲盛和夫 著  
日本経済新聞社  
550円

経理担当者の方にぜひ読んでいただきたい1冊です。稲盛和夫さんといえば、売上1兆円の電気機器メーカー「京セラ」と今のKDDIの前身である「第二電電」の二つの大企業を創業した実業家です。現在は政府の要請で日本航空の会長に就任し、経営再建に取り組んでいます。

そんな経営のプロが会計の話を通して、会社経営のあり方、経営の基本的な考え方を具体的に説明しているのがこの本です。経営者はもちろん、経営者の参謀として実際に会計を預かる経理担当者も必ず読んでおきたい書籍です。



「花神」  
山本俊之 著  
新潮文庫  
上巻660円 中巻700円  
下巻780円

この小説の主人公である大村益次郎は幕末期に長州藩（今の山口県）の兵隊を指揮して官軍を勝利に導いた明治維新の立役者の一人。もともと武士ではなく村医者だった大村益次郎は古い伝統やしがらみを気にせず、何でも合理的に判断する人だったそうです。坂本龍馬や西郷隆盛、桂小五郎といった情熱的な活動家たちを裏で支えた実務家の物語は、経営者を支える経理担当者の生き方のヒントになると思います。

実務書ばかり読んでいて頭が疲れた中、といった方に、気分転換としてお勧めの1冊です。

能な右腕に進化するための登竜門として、ぜひ挑戦してみてください。

そして、次のステップとして問題解決能力を身につけるように努力してみましょう。島国という立地に加えて人口が減少傾向にある現在の日本では、すべての会社が右肩上がりであり業績が伸びる、ということはありません。少ない売上でも確実に利益を出さるためには、ヒラメキやヤマ勘に頼った判断、ノリや勢いに任せた行動、ドンブリ勘定などをやめて、合理的な判断、計画に基づいた行動、正確な経理などに改める必要があります。

そのための仕組みづくりを設計するような問題解決能力こそが、これからの経理担当者に必要な力だと私は考えています。

不景気の今こそ、経理担当者のお出番です。数字の専門家としての誇りを持って、ドンドン会社に提案していきましょう。

ここにあるか、といったことを決算書や試算表から読み取れないといけません。できれば表面的な金額だけを見るのではなく、現場からあがってきた請求書や納品書にも目を光らせて、価格や数量などの具体的な内容まで把握するよう心がけましょう。

数値目標と行動計画を立案するのも、経理に求められる役割です。組織が一体となって活動するためには、共通の目標や計画の立案が不可欠です。会社の場合はそれらの目標や計画を決算書の数字と連動させるべきですが、数字に慣れていない人だけで考えると、精神論で目標が決まったり、好き嫌いで結論が出るようになります。

たとえば赤字を解消する方法を議論する会議で、具体策も考えないままその場の雰囲気や「売上を倍増しよう」「経費を一律5%カットしよう」などというおおよっぱな結論が出るということがよくあります。このような場合台に

「どんなお客様に、いくらの商品をいくつ売るつもりなのか」「人件費や税金・利息などの一律カットが難しい項目はどうするのか」といった具体的なことに一番頭が回るのは、経理担当者でしょう。理詰めで追い込まれると感情的になる人もいるかもしれませんが、非現実的な考えを改めてもらうためにリアリストに徹しましょう。

こうして立てた目標や計画も、誰も取り組まなければまったく意味がありません。

目標を達成するためには、社員全員がやる気を出して責任を持って計画を実行する必要があります。社員のやる気が出ない原因は、取り組む理由を知らない、目標のイメージがわからない、効果が出ていないから分らない、などが考えられます。

会社の現状を数字で何度も説明して、金額目標をイメージしやすい数値目標に置き換え、毎月実績を公表する、な

どの取組みをサポートする仕事も経理担当者の大切な役割です。

不景気の今こそ経理の出番だ  
.....  
いまお話ししたような参謀の役割を果たせる経理担当者になるためには、貸借対照表や損益計算書が読めるといった財務会計の知識だけでなく、資金繰りや採算分析といった管理会計の考え方を身につける必要があります。

そんなスキルを磨きたい方におススメしたい資格が「日商簿記1級」です。日商簿記1級の科目は商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算となっていますが、その内容はキャッシュフロー計算書や戦略的意思決定など多岐にわたっています。どの科目も単純な計算力だけでなく考える力が求められるので難易度は高いですが、この試験に合格する力が身につけば、相当なスキルアップです。伝票処理係から経営者の有